

静岡県「自動車業界」サプライチェーン動向調査（2024 年 12 月）

ホンダと日産、重複サプライチェーン企業は 960 社

～約 7 割が売上高 10 億円未満、

業種トップは「自動車部分品・付属品製造業」83 社～

2024 年 12 月 18 日、本田技研工業（以下本文、ホンダ）と日産自動車（以下本文、日産）が経営統合に向けた協議に入るという報道があった。

帝国データバンク静岡支店では、保有する「商流圏※1」をもとに、国内自動車メーカー10 社※2 に対して部品などのモノやサービスを提供する周辺産業（商流圏）を「自動車産業（サプライチェーン企業※3）」と定義し、調査・分析を行った。

[用語定義]**[注 1] 商流圏**

帝国データバンクが特許を取得した「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル（NIHACHI）」を用いて、任意の頂点企業における商流上（サプライチェーン）の傘下企業や取引企業において、各社の売上高が頂点企業にどの程度依存しているかを算出（特許取得済）したデータ。

頂点企業の直接取引先（一次取引先、Tier1）だけでなく、頂点企業と直接取引がない Tier2（二次取引先）以降の間接取引でも売上高依存度を把握でき、頂点企業との取引額を推計できる点が特徴。

[注 2] 国内自動車メーカー10 社

トヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車、マツダ、スズキ、SUBARU、三菱自動車工業、ダイハツ工業、いすゞ自動車、日野自動車。

[注 3] サプライチェーン（SC）企業

上記「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル」を用いて、任意の頂点企業に対して売上の 1%以上を依存している企業。

Tier3 以降は売上高 500 億円未満の企業を分析対象とした。

調査結果（要旨）

1. 自動車産業の静岡県内サプライチェーン企業総数は 10,789 社、売上高 10 億円未満が 78.2%を占める
2. ホンダと日産で重複する静岡県内サプライチェーン企業は 960 社、約 7 割が売上高 10 億円未満
3. 多様なサプライチェーン構成企業
4. サプライヤーは競争力強化が生存の鍵

1. 自動車産業の静岡県内サプライチェーン企業の総数は 10,789 社

国内自動車メーカー10社の静岡県内サプライチェーン企業（自動車産業）の総数は、2024 年 11 月時点で国内に推計 10,789 社であった。トヨタ自動車は 2,398 社と最多で、取引階層（Tier）別にみると、トヨタ自動車と直接取引を行う「Tier1」が 54 社あり、Tier1 と取引を行う「Tier2」は 1,310 社、「Tier3 以降」は 1,034 社だった。次いで、静岡県に本社を置くスズキが 1,888 社で続いた。

経営統合の報道が流れたホンダは 1,739 社、日産は 1,462 社あり、それぞれ取引階層（Tier）別にみると、ホンダの「Tier1」は 141 社あり、「Tier2」は 1,100 社、「Tier3」は 498 社だった。日産の「Tier1」は 52 社あり、「Tier2」は 925 社、「Tier3」は 485 社だった。

サプライチェーン全体の企業のうち売上高が判明した企業を規模別にみると「1 億円以上 10 億円未満」が 2,192 社（56.8%）と最も多く、「1 億円未満」が 828 社（21.4%）と続き、2 つを合わせた「10 億円未満」の企業で 78.2%を占め、中小企業が自動車産業を支えていることがわかる。

自動車メーカー別サプライチェーン企業数

	Tier1	Tier2	Tier3以降	サプライチェーン 企業総数
トヨタ自動車 株式会社	54	1,310	1,034	2,398
スズキ 株式会社	291	1,310	287	1,888
本田技研工業 株式会社	141	1,100	498	1,739
日産自動車 株式会社	52	925	485	1,462
株式会社 SUBARU	29	505	208	742
マツダ 株式会社	18	401	197	616
三菱自動車工業 株式会社	23	465	123	611
いすゞ自動車 株式会社	33	405	166	604
ダイハツ工業 株式会社	31	306	113	450
日野自動車 株式会社	23	206	50	279

自動車産業のサプライチェーン企業総数 計10,789社 重複企業数 ▲6,927社

自動車産業のサプライチェーン企業数 計3,862社

売上規模別企業数

売上高	企業数	構成比
1億円未満	828	21.4%
1億円以上 10億円未満	2,192	56.8%
10億円以上 100億円未満	736	19.1%
100億円以上 500億円未満	92	2.4%
500億円以上 1000億円未満	9	0.2%
1000億円以上	5	0.1%
合計	3,862	100.0%

2. ホンダと日産で重複する静岡県内サプライチェーン企業は 960 社

ホンダと日産両社のサプライチェーンに登場する静岡県内企業は 960 社だった。960 社のうち売上高が判明した企業を規模別にみると、「1 億円以上 10 億円未満」が 523 社（54.5%）と最も多く、「10 億円以上 100 億円未満」が 230 社（24.0%）、「1 億円未満」が 169 社（17.6%）と続き、「10 億円未満」の割合は 72.1%とサプライチェーン全体と比べるとやや少ない傾向にある。

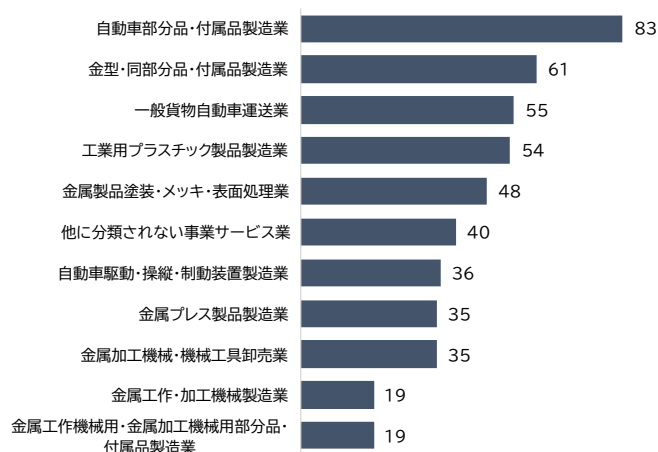
業種の傾向をみると、「自動車部分品・付属品製造業」が 83 社と最も多く、「金型・同部分品・付属品製造業」が 61 社、配送を担う「一般貨物自動車運送業」が 55 社、「工業用プラスチック製品製造業」が 54 社と続いた。サプライチェーン企業全体の業種をみると運送、ソフトウェア、サービス、人材派遣、工事関連など間接費や販管費に計上される商品・サービスを提供する企業が上位であった。ホンダと日産で重複する企業は製造業が多く、汎用性、技術力、規模、信頼性を有している自動車製造を支える必要な役割を果たしている。

ホンダと日産で重複するサプライチェーン企業 売上規模別企業数

売上高	企業数	構成比
1億円未満	169	17.6%
1億円以上 10億円未満	523	54.5%
10億円以上 100億円未満	230	24.0%
100億円以上 500億円未満	32	3.3%
500億円以上 1000億円未満	5	0.5%
1000億円以上	1	0.1%
合計	960	100.0%

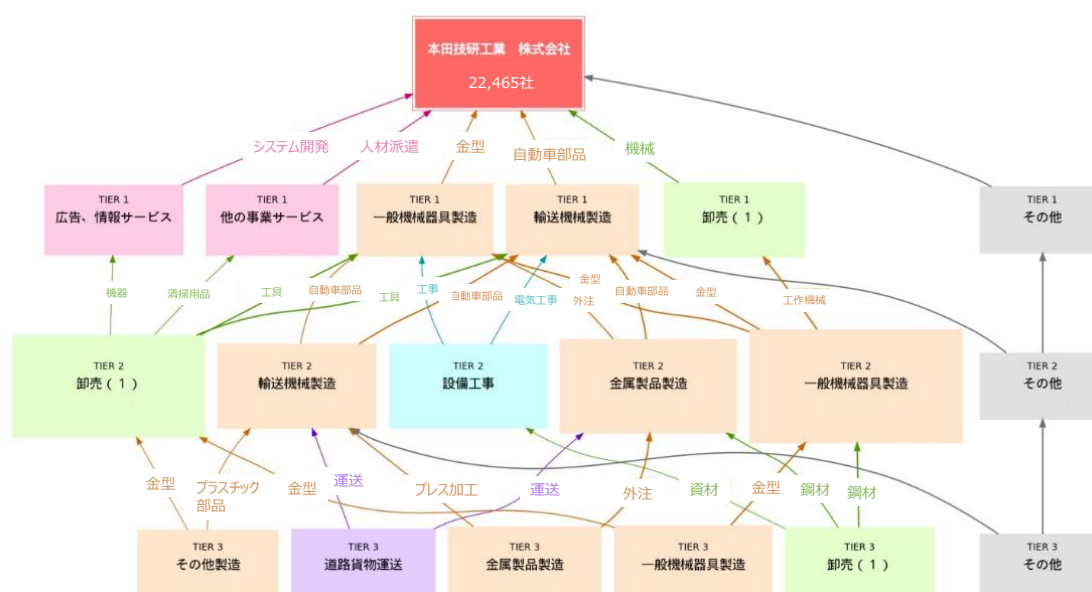
サプライチェーン企業 業種別企業数 TOP10

ホンダと日産で重複 (単位:社)

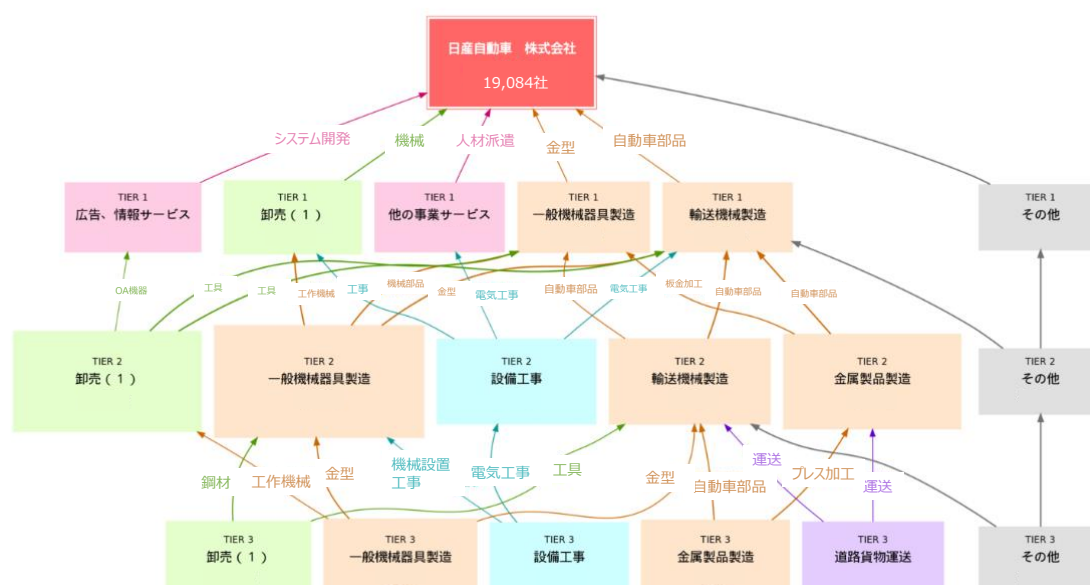


サプライチェーン企業全体 (単位:社)





日産のサプライチェーン構成業種



4. サプライヤーは競争力強化が生存の鍵

静岡県に本社を置く企業のなかで、ホンダと日産のサプライチェーン企業は 3,201 社。うち、両社に重複する 960 社を除いた 2,241 社は、ホンダと日産、どちらかのサプライチェーンのみに含まれることが判明した。両社の経営統合が実現すると、サプライヤーは規格統一、EV 市場への対応、価格交渉を含めた契約見直しなどが求められる。単独での競争力維持が難しい企業においては生き残りに向け、資金力や技術力のある企業と統合することで、サプライヤー間での M&A の動きが加速する可能性もある。一方、自動運転や EV など新技術分野での連携や需要拡大、両社のグローバル展開を通じて海外市場でのビジネスチャンスといった成長機会も期待される。

サプライヤーの 7 割以上を占める 10 億円未満の企業にとって規模的にも物価高、価格転嫁、人手不足などの環境変化が経営に与える影響は大きい。メーカーは市場環境を考慮しつつ下請法を遵守し、公正な取引条件を整えることが求められる。サプライヤーは、技術力強化や他メーカーへの展開を進め、メーカーにとって必要不可欠な存在となることが成否の分かれ目になるだろう。

【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 静岡支店 担当：竹岸 隆浩

TEL:054-254-8301 FAX:054-254-6602

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。